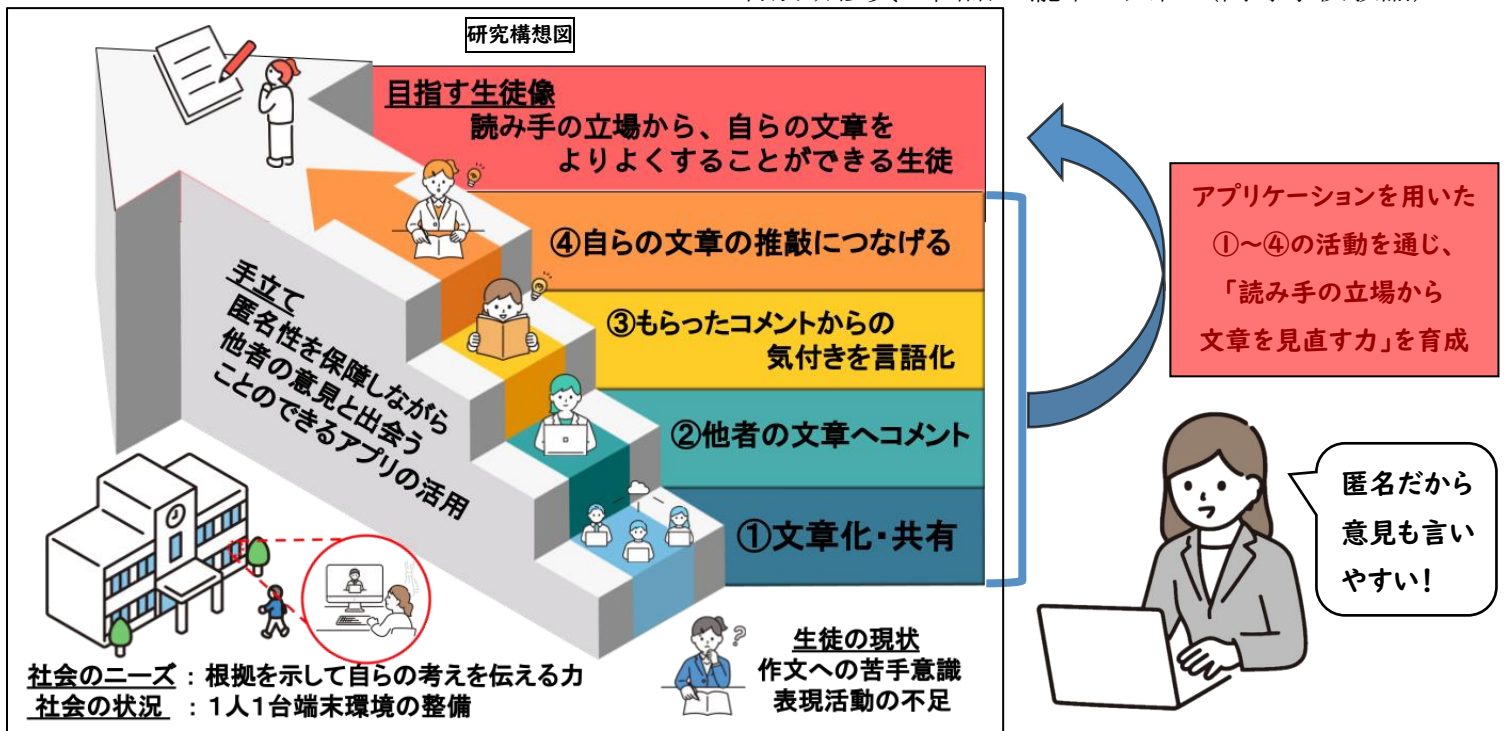


高校国語において、読み手の立場から 自らの文章をよりよくすることができる生徒の育成

—匿名性を保障しながら他者の意見と出会うことのできるアプリの活用を通して—

特別研修員 国語 瀧本 大仁（高等学校教諭）



授業での流れ

Hirohito Takimoto + 46
1-3 「不均等な時間」の構成に基づいて文章を書く **実際のアプリ画面**

①グループワーク用アプリで、意見文を匿名で共有

21 22

日本の貧困問題 後半
これ以上貧困を増やさないために様々な取り組みがされている。その中から一つ紹介しようと思う。それは「子ども食堂」だ。子ども食堂とは無料や安価で食事などを提供する団体である。食事だけでなく、貧困の子供に多い孤食を減らしコミュニケーションや社会との交流を深める場でもある。他にもフードバンクの取り組みや市、国の取り組みがたくさんある。また、個人でも貧困問題について一人ひとりがしっかり考えることも大切である。そして今、自分ができるボランティアや募金に積極的に参加していくべきだと思う。

食品ロス 前半
まだ食べられるのに、廃棄されてしまう食べ物のことを「食品ロス」と言う。その原因には、食べ残しや売れ残り、期限切れなどが挙げられる。また、世界では、まだ食べられる食材が13億トンも廃棄されており、日本でも、約612万トンの食材が廃棄されている。これは、東京ドームの約5杯分に相当し、国民1人あたり、毎日お茶碗1杯分の食材を捨てていることになる。

②匿名で互いにコメントを付け合う

匿名 「取り組み」が連続で続いている。一つにまとめるとスッキリするかも!

匿名 「食事だけでなく」の前の接続語を用いるとよりわかりやすくなると思った!

匿名 「日本でも、」の前の文と区切って、「そして、」を入れるとよさそう。

匿名 具体例のあとに問題提起を入れると教科書本文の構成に基づいた文章になると思う。

匿名 「日本でも、」の前の文と区切って、「そして、」を入れるとよさそう。

匿名 具体例のあとに問題提起を入れると教科書本文の構成に基づいた文章になると思う。

④自らの文章の推敲につなげる

対比は意識できた!
接続詞が足りなかった!
繰り返しがあった!

日本の貧困問題 後半 直し

これ以上貧困を増やさないために様々な取り組みがされている。その中から一つ紹介しようと思う。それは「子ども食堂」だ。子ども食堂とは無料や安価で食事などを提供する団体である。また食事だけでなく、貧困の子供に多い孤食を減らしコミュニケーションや社会との交流を深める場でもある。他にもフードバンクや市、国の取り組みがたくさんある。また、個人でも貧困問題について一人ひとりがしっかり考して今、や募金にだと思う

③コメントからの気づきをワークシートで言語化

接続詞を補足したり、言葉の繰り返しをまとめたりして文章を改善

成果

- 匿名であることで学力や人間関係に影響されることなく気づきを率直にコメントにしようとする姿勢が見られた。
- リアルタイムでのコメント活動は、自分の文章をよりよく書き直すことへの必要感を高めることにつながった。
- 多様なコメントにより、文章に応じた気づきもたらされ、個々の技術に応じた個別最適な学びもたらされた。

課題

- 交わされたコメントの多くが、文章構成や情報の重要性などの文章全体に関わる指摘でなく、言葉遣いや文の長さなど、一文単位での指摘に留まった。
- 自分の文章に寄せられたコメントの妥当性についての検討が不足してしまったため、熟慮することなくコメントどおりに自分の文章を直す生徒が見られた。